

24. 鉄筋工事の生産性向上を実現する配筋DX

業 者 名 鹿島建設株式会社

本社所在地 東京都

【取組概要】

組立て可能な状態に仕上げた配筋3次元モデルから帳票類を自動作成・出力する「配筋DX」を開発した。また、鉄筋加工データを各種ソフトウェアや自動加工機と連携することで、エラーの防止と鉄筋工事全体の効率化を実現した。さらに、モデルをタブレットで現場に持ち込むことで、組立作業のサポートも可能になる。データ形式は、世界標準のBVBSを採用しているため、本取組みは、建設業界への汎用性が高いことが特徴である。



- 工事受注者の施工計画や組立会社の技術ノウハウが反映された配筋 3 次元モデルは、帳票類を自動で作成・出力するため、従来の帳票作業が抱える課題点（時間がかかる、誤入力・誤記などのミスの発生）の解決に有効である。
- 積算ソフトや加工場の在庫管理システム、自動加工機とデータ連携することで、加工情報の自動帳票化のみならず、鉄筋工事全体での 3 次元モデル利用を実現するという点で先進性を有している。また、組立現場にてタブレット端末を通じた操作も可能にした。
- 世界標準、かつオープンフォーマットであるBVBS（Bundesvereinigung Bausoftware形式）を使用しており、全ての鉄筋工事関係者に汎用性が高い取り組みである。作業ミスの削減や時間短縮を実現し、担い手不足や手作業による作業員の負担という鉄筋関係者共通の課題の解決に貢献する。